

# 教 育 研 究 業 績 書

2023年 5月 1日

氏名 小 山 隼 平

| 研 究 分 野                      |                     | 研 究 内 容 の キ 一 ワ 一 ド   |  |
|------------------------------|---------------------|---|--|
| 1. 芸術学                       |                     | 音楽学   |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項      |                     |   |  |
| 事 項                          | 年月日                 | 概 要   |  |
| 1 教育方法の実践例<br>1)「作曲法」の学生教育指導 | 平成23年4月～<br>平成26年3月 | 作曲の仕方について実践的に学ぶための科目である。作曲は本来自らの音楽体験や感性に基づく個人的な創作作業であるが、受講生の大半は作曲を専攻していない学生であり、また受講人数も多い。これに対応するため、通常の作曲法（和声学などの作曲理論の学習）ではなく簡易な旋律の作成方法を事例に基づき紹介することに多くの時間を割き、初学者の心理的な負担を減らすように努めている。また教員免許取得に係わる科目であるので、高校生以下の若い世代にも対応できるようCMソングや学校の校歌も含めた幅広いジャンルの音楽を教材としている。 |  |
| 2)「作曲研究」の学生教育指導              | 平成23年4月～<br>2019年3月 | 作曲を専攻している学生が、創作が主たる内容である「作曲実技」と並行して履修する科目である。楽曲を分析し創作につなげていくことが主たる目的であるが、学生個人の作品と照らせつけつつ最適な教材になり得る楽曲を分析・研究し、創作の一助となるよう努めている。また少人数の講義であることを生かし、学生からの要望を高い頻度で反映した授業内容を企画している。   |  |
| 2 作成した教科書、教材                 |                     |   |  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価           |                     |   |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項        |                     |   |  |
| 5 その他                        |                     |   |  |
| 職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項      |                     |   |  |
| 事 項                          | 年月日                 | 概 要   |  |
| 1 資格、免許                      | 平成18年3月             | 中学校教諭一種免許（音楽）、高等学校教諭一種免許（音楽）  |  |
| 2 特許等                        |                     |   |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項        |                     |   |  |
| 4 その他                        |                     |   |  |

| 研究業績等に関する事項                                       |         |           |                        |  |
|---|---------|-----------|------------------------|--|
| 著書、学術論文等の名称                                       | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称    | 概要   |
| (著書)<br>1 La Funca de Paris                       | 共著      | 平成24年11月  | アジョンス・ドゥ・原生林           | CD。収録曲3曲を編曲。   |
| (学術論文)<br>1 多様な音楽文化に応じた和声法学習—音楽学科必修科目「和声法」の構想に向けて | 単著      | 平成27年3月   | 札幌大谷大学紀要第45号 pp. 21~24 | ほとんどの大学で和声の教則本となつてゐる「和声 理論と実習（島岡譲他（1964）、音楽之友社）」では西洋古典音楽の様式を基準としているが、学習者の大半は現代の多様な音楽文化の中で育つており、両者の間には隔たりが生じる。また、西洋古典音楽の様式を厳格に守るために数多くの禁則事項が設定されているが、この暗記だけが学習者の主目的になつてしまふ。このような問題点を分析した上で、改善する方法を考察した。 |
| 2 和声法学習の意義はどこにあるのか                                | 単著      | 2019年4月   | 札幌音楽家協議会『コンコルデ』62号     | 理論の学習と音楽の実践との関係性について考察し、現在の和声法学習に対する、指導者の態度について論じた。  |
| 3 大学所有のホールを利用した実践的な教育に向けて—『我楽多棧敷』公演を通して           | 共著      | 2021年4月   | 札幌大谷大学紀要第51号           | 札幌大谷大学所有の音楽ホールを利用してコンサートを通して、ホールの持つ可能性を探るとともに、コンサートを運営するための方法や知識について、学生が実践的に学ぶ場を提供できるかどうかを検討した。  |
| (演奏)<br>1 東京ギンガ堂公演 音楽劇「東京坊ちゃん」                    | 共著      | 平成22年7月   | 東京都新宿区歌舞伎町 大久保公園内特設劇場  | 品川能正作・演出、日高哲英の作曲 音楽劇「東京坊ちゃん」での演奏。<br>出演：山本学 他  |
| 2 俳優座劇場プロデュース公演音楽劇「わが町」                           | 共著      | 平成23年3月   | 俳優座劇場                  | ソーントン・ワイルダー作、西川信廣演出、上田亨作曲の音楽劇「わが町」での演奏。<br>出演：土井裕子 他   |
| 3 ジョン・ケージ生誕100周年記念プレ・コンサート                        | 共著      | 平成23年12月  | 札幌大谷大学百周年記念同窓会ホール      | ケージ作曲「Music Walk」他<br>ピアノ、トイピアノ 小山隼平<br>ピアノ、コンピュータ 向山千晴<br>パーカッション 前川原雄太<br>ダンス 渡部倫子   |
| 4 札幌大谷大学芸術学部「共同制作演習B（映像）」制作発表会「奏でる映像、描く音楽」        | 共著      | 平成25年1月   | 札幌大谷大学大谷記念ホール          | 映像と即興演奏のコラボレーション作品。  |
| 5 北海道作曲家協会 第5回演奏会「スマイルプロジェクト」                     | 共著      | 平成26年3月   | ターミナルプラザ にバトス          | 北海道作曲家協会主催演奏会でのライブパフォーマンス。   |
| 6 札幌市役所ロビー コンサート                                  | 共著      | 平成26年3月   | 札幌市役所ロビー               | 自作品の演奏およびパフォーマンス。  |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著・共著の別  | 発行又は発表の年月  | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称  | 概要   |
|--|--|--|--|--|
| (演奏)<br>7 ホームムービーの日 さっぽろ<br>8 札幌市東区役所ロビーコンサート  | 共著<br>共著   | 平成26年10月<br>平成29年5月  | 赤レンガテラス内テラス計画<br>札幌市東区役所ロビー  | 「8mmfilm Live Edit Performance」での即興演奏。<br>即興演奏。  |
| (作曲作品)<br>1 夕顔<br>2 家のぬし 他<br>3 このをとめ<br>4 真駒内公園小学校校歌<br>5 The Storyteller<br>6 上田敏の訳詞による歌曲<br>7 うつくしきうた<br>8 かごめかごめの主題によるパッサカラリア<br>9 女声合唱のためのミサ<br>10 聖歌によるメドレー<br>11 故郷の空 他<br>12 Storyteller Mk-II<br>13 モーツアルトがいっぱい<br>14 「あの日の東区」BGM | 単著<br>共著<br>単著<br>共著<br>単著<br>単著<br>単著<br>単著<br>単著<br>単著<br>単著<br>単著<br>単著<br>単著<br>共著<br>単著<br>共著 | 平成22年9月<br>平成22年9月<br>平成23年1月<br>平成24年3月<br>平成25年1月<br>平成25年6月<br>平成25年10月<br>平成25年11月<br>平成26年2月<br>平成26年5月<br>平成26年5月<br>平成26年6月<br>平成26年9月<br>平成27年3月 | 白寿ホール<br>新宿「ふく」<br>東京建物八重洲ホール<br>真駒内公園小学校体育館<br>札幌コンサートホールKitara<br>エリエールスクエア札幌渡辺淳一文学館<br>美唄市民会館<br>札幌サンプラザホール<br>札幌コンサートホールKitara<br>北星学園女子中学高等学校スマス記念講堂<br>岩内地方文化センター<br>札幌大谷大学大谷記念ホール<br>札幌コンサートホールKitara<br>東区区民センター | 歌曲。詞は「閑吟集」による。メゾソプラノ：青山恵子、三味線：本條秀太郎、チェロ：佐藤翔。<br>歌曲。詞は田上悦子の同名の詩による。ヴォーカル：恩田亜裕美、ピアノ：小山隼平。他に「眠れぬ夜の子守唄（詩：青木春菜）」、「おれの壁について（詩：鈴木太郎）」を出品。<br>歌曲。詞はポール・フォール作、上田敏訳の同名の詩による。テノール：宮腰敬一、ピアノ：小山隼平。<br>同小学校での開校式にて発表された。詞は大室道夫校長による。<br>吹奏楽曲。指揮：菊地秀夫。<br>歌曲。詞はトリスタン・コルビエール、ポール・フォール、ガブリエレ・ダヌンツィオ作、上田敏訳詞の同名の詩による。ソプラノ：平野則子、ピアノ：小山隼平。<br>詞は林英美子の碑文による。「美唄サテライト・キャンパス」でのコンサートにて演奏。<br>六重唱曲。札幌音楽家協議会より委嘱された。<br>合唱曲。指揮：則竹正人、合唱：札幌大谷大学輪声会。<br>五重唱曲。ソプラノ：平野則子 他<br>編曲。女声三部合唱曲。岩内女声合唱団リラより委嘱された。<br>吹奏楽曲。指揮：菊地秀夫。陸上自衛隊中央音楽隊と札幌大谷大学とのキャンパスコンサートにて演奏された。<br>ピアノ2台8手。モーツアルト・アベントより委嘱された。<br>映像作品の付随音楽。監督：宮嶋風花。 |

| 著書、学術論文等の名称          | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称                       | 概要   |
|----------------------|---------|-----------|---|--|
| (作曲作品)               |         |           |   |  |
| 15 《栄町歌舞伎体操》ための音楽    | 共著      | 平成27年8月   | 商店街みらい会議 東区栄町商店街活性化事業「ハッチふれあいフェスティバル2015」 | 左記イベントにおける「歌舞伎体操」ための音楽の制作。   |
| 16 靴下から考える           | 単著      | 平成27年8月   | 北海道教育大学岩見沢校i-HALL                         | ピアノ1台6手のための身振りを伴う作品。ピアノ：松永加也子他。  |
| 17 リベルタンゴ、ボレロ        | 共著      | 平成27年10月  | 越谷コミュニティセンター・サンシティホール                     | ピアソラ、ラヴェルの作品をピアノ・トリオ用に編曲したもの。チェロ：長谷川陽子他。   |
| 18 岩内女声合唱団リラ団歌《リラの歌》 | 単著      | 平成27年11月  | 岩内地方文化センター                                | 岩内のアマチュア女声合唱団「リラ」ための団歌。  |
| 19 札幌大谷大学附属幼稚園園歌     | 単著      | 平成27年12月  | 札幌大谷大学附属幼稚園                               | 札幌大谷大学附属幼稚園のための園歌。安井美恵子園長の詩による。  |
| 20 佐藤春夫の詩による三つの抒情歌   | 単著      | 平成28年3月   | 札幌市生涯学習センター「ちえりあホール」                      | 合唱曲。指揮：則竹正人、合唱：札幌大谷大学輪声会。  |
| 21 重金属II             | 単著      | 平成28年6月   | 北海道教育大学岩見沢校i-HALL                         | バリトンサックスとピアノ1台4手のための作品。ピアノ：松永加也子他。   |
| 22 歯車                | 単著      | 平成28年9月   | 札幌コンサートホールKitara                          | クラリネット、ファゴット、トロンボーン、ヴァイオリン、ヴィオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器、ピアノ、語り手のための作品。指揮：板倉康明、演奏：東京シンフォニエッタ他。 |
| 23 十勝のための組曲          | 単著      | 平成28年9月   | とかちプラザレインボーホール                            | 合唱曲。指揮：則竹正人、合唱：札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部同窓会真心会十勝支部有志。   |
| 24 《タッピ一体操》ための音楽     | 共著      | 平成28年10月  | 東区区民センター他                                 | 札幌市東区が高齢者向けに制作した体操の一部に音楽を作曲。   |
| 25 電球論               | 単著      | 平成29年2月   | ザ・ルーテルホール                                 | クラリネット4本と語り手のための作品。クラリネット：菊地秀夫他。   |
| 26 トランペット協奏曲         | 共著      | 平成29年3月   | 札幌時計台ホール                                  | ヨーゼフ・ハイドン作曲、トランペット協奏曲変ホ長調Hob.Ville:1を金管八重奏に編曲。トランペット：神代修他。                                 |
| 27 花のワルツ             | 共著      | 平成30年1月   | 札幌時計台ホール                                  | ピョートル・チャイコフスキイ作曲、《くるみ割り人形》の「花のワルツ」を、ピアノ1台6手とソプラノのために編曲。ソプラノ：大友ひろ世他。                        |
| 28 『ソラタビ北海道』付随音楽     | 単著      | 平成30年10月  | 札幌テレビ放送制作『ソラタビ北海道』番組内                     | 札幌テレビ放送開局60周年を記念し制作された『ソラタビ北海道』のための音楽を作曲し、提供した。  |
| 29 Who Found It?     | 単著      | 2019年9月   | 札幌コンサートホールKitara                          | 弦楽四重奏。札幌コンサートホールKitaraより委嘱された。ダネル四重奏団によって演奏された。  |

| 著書、学術論文等の名称                 | 単著・<br>共著の別 | 発行又は<br>発表の年月 | 発行所、発表雑誌等<br>又は発表学会等の名称 | 概要  |
|-----------------------------|-------------|---------------|-------------------------|---|
| (その他)                       |             |               |                         |   |
| 1 L' aquoiboniste           | 共著          | 平成24年12月      | 「プラストライブ」12月号           | 編曲。プラストライブ誌12月号に掲載。                       |
| 2 即興演奏の始め方                  | 単著          | 平成25年11月      | 札幌大谷大学響流ホール             | 講演。日本音楽療法学会北海道支部より依頼された。                  |
| 3 即興演奏の始め方                  | 単著          | 平成27年9月       | 札幌コンベンションセンター           | 日本音楽療法学会全国大会での講演。                         |
| 4 みんなの音を奏でよう                | 単著          | 平成29年8月       | 丘珠ひばり児童会館               | ワークショップ。札幌国際芸術祭内の、多世代交流プログラムの1つとして実施された。  |
| 5 ドラマを作る音楽の力 ファミコン音楽の世界     | 単著          | 平成30年7月       | 札幌大谷大学視聴覚室              | 札幌大谷大学公開講座。                               |
| 6 我楽多棧敷—歌、クラリネット、ピアノで綴る劇空間— | 共著          | 2020年12月      | 札幌大谷大学大谷記念ホール           | 朗読付き音楽作品の上演にあたって、舞台演出を担当した。               |
| 7 『イメージソングの謎を追う』            | 共著          | 2021年2月       | 北海道テレビ放送                | 北海道テレビ放送制作の番組『イチオシ!』の取材を受け、同番組に出演した。      |
| 8 PMF2022『リンクアップ・コンサート』     | 共著          | 2022年7月       | 札幌コンサートホールKitara        | PMF『リンクアップ・コンサート』の2022年度版構成台本の修正と加筆を担当した。 |